

平成 29 年度 公益財団法人とやま国際センター事業報告

I 国際化促進事業

(計画額 177,988千円 実績額 158,374千円)

1 国際交流事業

(計画額 3,442千円 実績額 1,576千円)

(1) 草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行った。(単位:千円)

団体名	事業名	助成金額
富山県日中友好協会	日中国交回復 45 周年記念「とやま日中友好の集い」	100
富山ルーマニア友好協会	モルドバ共和国交流フェスタ	100
南砺市綱引協会	南砺市・ツクチェ村(ネパール)友好交流 in 綱引	100

(2) とやま国際草の根交流賞

国際交流や国際協力活動を草の根レベルで実践している個人、団体を顕彰し、県民の国際交流・協力の意識の啓発、向上を図った。

時期: 11月1日(水)

会場: 富山県庁 4階 大会議室

表彰者

個人 4 青海 正和(富山市民国際交流協会)
田中 敏子、田中 恵美(南砺ラオス会)
松岡 秀子(富山県日韓親善協会)
山辺 知代(富山県芸術文化協会)

団体 2 Earth Moving 実行委員会
朝日町日中友好協会



(3) 国際交流フェスティバル

国際交流や国際協力などに取組む県内の団体の日頃の活動等を紹介するとともに、県民が異文化に触れ合う機会を提供した。

時 期：11月12日（日）
 会 場：富山駅自由通路、CICビル内
 参加者数：延べ約6,000名(30団体)
 主 催：国際交流フェスティバル2017実行委員会

2 国際協力事業

(計画額 93,228千円 実績額 86,988千円)

(1) 海外研修員等の受入

ア 海外技術研修員

開発途上国等に対する技術協力の一環として、富山県が受け入れる海外技術研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	6カ月	安達建設株式会社
ロシア	1名	6カ月	(株)プラチナコンシェルジュ
中国	2名	6カ月	(公財)富山県新世紀産業機構
		2カ月	(学)浦山学園 富山情報ビジネス専門学校
中国(短期)	1名	4カ月	(株)トヤマ・ヤポニカ

イ 多文化共生推進研修員

ブラジル人児童の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	6カ月	高岡市立野村小学校



(2) 外国人留学生への支援

ア 県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生に対して滞在中の日常生活等を支援した。

区分	人数	受入期間	留学先
ロシア沿海地方留学生	1名	平成29年4月3日～30年3月3日	富山大学
中国遼寧省留学生	1名	平成29年4月1日～30年2月28日	〃
南米留学生	1名	平成29年4月3日～30年2月26日	〃
県立大学遼寧省留学生	1名	平成29年4月5日～30年3月14日	富山県立大学

イ 私費留学生への支援

(ア) 富山県国際交流奨学金の交付

県内の大学等に在籍する私費留学生のうち、成績が優秀で国際交流事業等へ参加の意思がある学生に対し奨学金を支給した。また、専門学校等で日本語を学ぶ学生に対し奨学金を支給した。

大学等在籍者	1年生	月額10千円支給	支給者数	19名
	2年生以上	月額50千円支給	支給者数	22名
日本語教育機関の学生		月額3千円支給	支給者数	216名

(イ) 国民健康保険の加入助成

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付した。

- ・助成額：年額12千円（本人負担分の約2/3）
- ・支給者数：私費留学生 211名
日本語教育機関学生 199名

(ウ) 留学生の住宅確保への支援

留学生が安定した居住環境で生活が営めるよう、住宅の賃貸借契約を行う際にとやま国際センターが連帯保証人となった。

引受件数 67件

ウ アセアン留学生の受入

県と県内企業が連携して実施する留学から就職までを一体とした留学生受入事業による第1期アセアン留学生5名の滞在3年目、第2期アセアン留学生4名の滞在1年目の日常生活等を支援した。

	出身国	受入企業	受入期間	留学先
第1期	インドネシア	朝日印刷株式会社	H28. 1. 13～H30. 3. 31	富山大学大学院 理工学教育部
	ベトナム	黒田化学株式会社	H28. 1. 12～H30. 3. 31	富山大学大学院 理工学教育部
	インドネシア	中越興業株式会社	H27. 11. 30～H30. 3. 31	富山県立大学 工学研究科
	インドネシア	東亜薬品株式会社	H27. 12. 7～H30. 3. 31	富山大学大学院 医学薬学教育部
	タイ	日医工株式会社	H28. 1. 13～H30. 3. 31	富山大学大学院 医学薬学教育部
第2期	タイ	小矢部精機株式会社	H29. 11. 28～H32. 3. 31	富山大学大学院 理工学教育部
	フィリピン	川端鐵工株式会社	H29. 9. 26～H32. 3. 31	富山大学大学院 理工学教育部
	インド	株式会社ダイト	H29. 9. 26～H32. 3. 31	富山大学大学院 医学薬学教育部
	フィリピン	ファーマパック株式会社	H29. 9. 26～H32. 3. 31	富山大学大学院 医学薬学教育部

※受入企業の五十音順

新 エ 留学生交流拡大・魅力発信事業

外国人留学生在が富山県の観光地等を訪れ、魅力に感じた見どころや富山での暮らしぶりについて、インターネット等により海外へ向けて発信する活動を支援した。

第1回バスツアー（立山）外国人留学生26名参加

第2回バスツアー（五箇山）外国人留学生18名参加

(3) NOWPAPへの協力

国際連合の機関であるNOWPAP（北西太平洋行動計画）地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援した。

(4) 青年海外協力隊事業への支援

青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティア事業の帰国報告会の開催を支援した。

- ・青年海外協力隊富山県OB会活動補助金 80千円

(5) 海外移住者及び関連団体への支援

- ・在外県人会活動費補助金
（ブラジル、アルゼンチン、ペルー） 1,270千円
- ・南米協会活動費補助金 1,000千円
- ・海外移住家族会活動費補助金 4,844千円



3 多文化共生事業

(計画額 6,399千円 実績額 5,014千円)

(1) 外国人のための生活相談等の実施

ア 生活相談

県内で暮らしている外国人が日常生活に必要な情報や個人的な悩み等を母国語で相談できるよう外国人の生活相談員や国際交流員を配置し、面談又は電話で対応した。

(対応言語) 英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、テルグ語

(相談実績件数)

内容 国籍	情報	保険	在留	教育	医療	福祉	税金	労働	婚姻	法律	住宅	その他	合計
ブラジル	15	4	15	12	22	6	7	4	4	1	3	3	96
パラグアイ	1									1			2
アメリカ												1	1
日本(※)	1	1	2				1	1					6
合計	17	5	17	12	22	6	8	5	4	2	3	4	105

(※)「日本」は、外国人に関する相談

イ 電話通訳サポート

生活相談をリアルタイムで解決できるよう三者通話機（NTTトリオフォン）を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを行った。 利用件数：19件

(2) 外国人のための日本語学習支援ボランティアの育成・支援

ア 日本語ボランティア養成講座

外国人の日本語学習を支援するボランティア養成のための講座を開催した。

時 期：8月26日～10月28日（高岡市）、
11月11日～12月16日（黒部市）

回 数：各5回

会 場：高岡市国際交流センター（高岡市）
黒部国際文化センター コラーレ
（黒部市）

受講者数：24名（内、高岡市14名、黒部市10名）



イ 日本語教室アドバイザーの派遣

地域日本語教室へ日本語教育専門アドバイザーを派遣し、安定的運営とスキルの向上を図った。

派遣実績：太閤山日本語グループ 13回

日本語教室 in 氷見 15回

日本語教室 in 黒部 11回

にほんご広場 in なんと 11回

新 ウ 日本語ボランティアスキルアップ研修会 ※講師罹患のため急遽中止

県内の各日本語教室のボランティア等のスキルアップや情報交換を目的とし、研修会を開催する。

開催予定時期：1月20日（土）

開催予定場所：環日本海交流会館

開催予定内容：「富山における対話中心の日本語支援教室の紹介」

講師 日本語教室 in 黒部 代表 家城 香織氏

「生活密着型の日本語支援を目指して」

講師 聖心女子大学 准教授 岩田一成氏

エ 日本語ボランティアの研修会等参加費用の支援

地域の日本語教室で活動している日本語ボランティアが、自己研鑽のため文化庁等が行う研修会に参加する場合にその参加費用の一部を助成した。

助成実績：1名

(3) 外国語の絵本よみきかせ親子の会の開催

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍の子どもには母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子に対しては海外の文化に出会う機会を提供した。

時 期：4月～3月 毎月第2土曜（8月は第1土曜、2月は第3土曜）
開催回数：12回（英語（9回）、ロシア語（1回）、ポルトガル語（1回）、中国語（1回））
会 場：環日本海交流会館
参加者数：延265名

(4) 外国人への防災情報提供

ア ラジオ番組「BOUSAI RADIO」による防災情報の提供

地震や台風など災害に関する防災情報をやさしい日本語、中国語、英語、ポルトガル語で提供するラジオ番組「BOUSAI RADIO」を放送した。

毎月第1・3土曜日 午後9時55分から5分間、FMとやまで放送

(5) 災害時の外国人支援のための防災訓練事業

ア 災害時外国人支援ボランティア研修（やさしい日本語コース）

災害時における「やさしい日本語」による情報提供等研修会を実施した。

時 期：7月1日（土）
会 場：環日本海交流会
講 師：トヤマ・ヤポニカ 要門美規 氏
参加者数：9名

イ 災害時外国人支援ボランティア研修（多言語翻訳コース）

災害時における「多言語」での通訳、翻訳による情報提供研修会を実施した。

時 期：7月8日（土）
会 場：富山市民国際交流センター
講 師：富山県国際交流員等
参加者数：25名

新 ウ 災害時外国人支援研修（自治体職員等担当者コース）

災害多言語支援センターや避難所の設置・運営の基礎研修と「やさしい日本語」研修を実施した。

時 期：7月27日（土）
会 場：富山県農協会館
講 師：一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村太郎 氏
トヤマ・ヤポニカ 要門美規 氏
参加者数：12名

エ 広域連携による防災研修（石川県、福井県と共同実施）

大規模災害時における石川県、福井県と連携した「災害時外国人支援ボランティア研修」を実施した。

時 期：7月29日（土）
会 場：福井県国際交流協会
講 師：NPO法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井佳彦 氏
越前町教育委員会 モハマド・シャイリル 氏
参加者数：44名（富山県2名、石川県5名、福井県37名）

オ 富山県総合防災訓練への参加

富山県総合防災訓練において「災害多言語支援センター」等の運営訓練を実施した。

時 期：9月30日（日）
会 場：アルペンスタジアム
講 師：公益財団法人名古屋国際センター総務課主幹 丹下厚史 氏
参加者数：40名（語学ボランティア27名、留学生・研修員13名）

(6) アセアン講座

著しい経済成長を遂げるアセアン諸国の文化や生活習慣をはじめ、各国の魅力を紹介した。平成 29 年度は、第 2 回としてタイを取り上げた。

時 期：11 月 19 日（日）
場 所：環日本海交流会館
内 容：「グローバル時代のタイと日本」
講 師：東京外国語大学名誉教授 宇戸 清治氏
参加者数：18 名



新(7) 外国人住民の地域社会参加促進支援事業

多様な文化や習慣を背景に持つ外国人を地域社会に受け入れ、日本人住民とともにその能力を活かして活躍してもらうことは、地域活性化の観点から重要であることから、地域社会と外国人住民との橋渡し役となる知識、経験や人脈を備えた外国人キーパーソンを育成するための研修会を実施した。

- | | | |
|-------|------------------------------|---|
| 第 1 回 | キックオフセミナー | 平成 29 年 8 月 27 日（日） |
| | ファシリテーター | NGO ダイバーシティとやま代表 宮田 妙子 氏 |
| | ゲストスピーカー | 富山日伯交流友の会代表 木口 実 氏 |
| | | 元富山大学留学生 金 麗 氏 |
| | | 影絵師 ジャック・リー・ランダル 氏 |
| | | ウェルフェア・ソーシャル・サスティナビリティ・トヤマ・ジャパン代表 ナワブ・アリ・ベールム 氏 |
| | | ミュージシャン 松本 ちこ 氏 |
| 第 2 回 | もし病気になったら？介護が必要になったら？ | 平成 29 年 9 月 16 日（土） |
| | 社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員 | 竹内 嘉伸 氏 |
| 第 3 回 | もっと聞きたい！とやまで活躍する外国人の話 | 平成 29 年 10 月 14 日（土） |
| | 元富山大学留学生 | 金 麗 氏 |
| 第 4 回 | 誤解しやすい日本の常識・マナー | 平成 29 年 11 月 18 日（土） |
| | (株)プラチナコンシェルジュ代表取締役 | 森 幸恵 氏 |
| 第 5 回 | アレッセ高岡訪問 | 平成 29 年 12 月 16 日（土） |
| | アレッセ高岡代表 | 青木 由香 氏 |
| 第 6 回 | 外国人にとって理解が難しい日本語 | 平成 30 年 1 月 20 日（土） |
| | (有)トヤマ・ヤポニカ代表 | 中河 和子 氏 |
| 第 7 回 | 富山でもっと活躍するために、みんなで考えましょう | 平成 30 年 2 月 17 日（土） |
| | NGO ダイバーシティとやま代表・多文化共生マネージャー | 宮田 妙子 氏 |

4 国際理解・研修事業

(計画額 3,971千円 実績額, 2,311千円)

(1) 語学講座の開催

講座名	コース	期 間	対 象	受講者数
中国語	入 門	5/22～3/12	初心者	11 名
	初 級	5/26～3/10	経験者（1年程度）	14 名
韓国語	入 門	5/24～3/7	初心者	27 名
	初 級	5/25～3/8	経験者（1年程度）	33 名
	中 級	5/22～3/19	基礎修得者	10 名
ロシア語	入 門	5/26～3/9	初心者	19 名
ポルトガル語	初 級	5/24～3/7	基礎修得者	12 名

開催回数：各講座 35 回

計 126 名

会 場：とやま国際センター研修室

(2) 国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し国際交流・国際理解・国際協力を促進した。

開催回数：57回

参加者数：延べ2,391名

講師：国際交流員、JICA職員、青年海外協力隊OB、留学生など

(3) 国際交流サロン

ア イングリッシュ・チャット

県民と県内で暮らす外国人ゲストが自国の文化や日頃感じていることなどを英語で自由に語りあった。

開催回数：24回

参加者数：延べ492名

会場：とやま国際センター談話室

新 イ ナマステ・インディア

インドのさまざまなことについて英語で紹介し、県民に異文化理解の場を提供した。

開催回数：8回

参加者数：延べ30名

会場：とやま国際センター談話室

(4) とやま国際塾

各国からの国際交流員、海外技術研修員、留学生との交流などを通じて、高校生の国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流、国際協力や多文化共生に関心を高めてもらった。

時期：7月16日(日)～17日(月・祝)

参加者数：高校生18名

会場：呉羽青少年自然の家、他



(5) 国際交流ひろば

富山県国際交流員が各国の文化を紹介する「国際交流ひろば」を6回開催した。

第1回	移民大国アメリカの食文化	10月7日(土)	参加者9名
第2回	ブラジルのスイーツ紹介	10月28日(土)	参加者8名
第3回	韓国のお化粧品	11月4日(土)	参加者13名
第4回	漢服文化の紹介	11月25日(土)	参加者7名
第5回	ロシアで人気のテーブルゲーム	12月2日(土)	参加者7名
第6回	インド文化の紹介	1月13日(土)	参加者7名
会場	環日本海交流会館		計：51名

(6) 国際理解のための教材、国旗及び民族衣装の貸出し

(貸出実績)

教材：3点(2団体)

民族衣装：147点(11団体)

国旗：111点(18団体)

5 情報サービス事業

(計画額 3,000千円 実績額 2,579千円)

(1) 情報紙の発行

ア 「What's Happening」

内容：県内で開催される各種国際交流イベントや国際交流事業等を紹介した。

発行言語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語

発行部数：隔月 2,100部

イ 「TIC NEWS」

内容：県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際流団体の活動、海外からのレポート、とやま国際センターの事業等を報告した。

発行部数：年4回 各2,000部

(2) 多言語メールマガジン情報提供

内 容：外国人住民などに幅広く国際交流事業、イベント情報、生活情報、防災情報等を提供する多言語メールマガジンを配信した。

対応言語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語

配信回数：12回（4月～3月）

登録者数：168名（平成30年3月末）

(3) 国際交流人材バンク

ア 国際交流人材の登録と紹介

(紹介実績)

区 分	件数	内 訳 (人)
通 訳 者	23件	英語 (8) 中国語 (7) タイ語(2) ポルトガル語 (2) 台湾語 (1) 等 計：31名
翻 訳 者	27件	英語 (16) 中国語 (5) ベトナム語(3) ポルトガル語 (1) 等 計：27名
ホストファミリー	1件	計：1名
日本語指導者	4件	計：5名
海外事情紹介者	1件	計：1名
計	56件	65名

イ 通訳者の資質向上のためのセミナー開催

医療通訳をテーマに、国際交流人材バンク通訳・翻訳登録者を主な対象にしたセミナーを開催した。

時 期：9月2日(土)

会 場：環日本海交流会館

受講者数：38名

内 容：「医療通訳 ～よきサポーターになるために知っておきたいこと～」

講 師：医療通訳研究会 (MED INT) 代表 村松 紀子氏



(4) 広報PR事業

内 容：当財団の取り組む事業や講座を紹介するためのホームページをリニューアルした。

対応言語：日本語、英語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、韓国語

6 環日本海交流会館管理運営事業

(計画額 10,623千円 実績額10,538千円)

(1) 施設管理運営費

県民と外国人の交流の場、国際交流団体やボランティアの自主的な活動の場、留学生や研修生等の活動の場として運営を行った。国際交流・国際協力に関する図書などの情報媒体を活用し、富山県をはじめ諸外国の情報提供を行った。

・総利用者数 26,595名

一般利用者数

区 分	午 前	午 後	夜 間	合 計
人 数	8,502	5,000	2,307	15,809

会議室利用者数

1,313件 10,786名 (うち、大会議室利用 179件 4,319名)

図書、DVD等の利用件数

区 分	図 書	DVD	C D
件 数	1,500	193	32

7 富山県大連事務所運営事業

(計画額 31,684千円 実績額 26,333千円)

(1) 経済交流の推進

ア 訪問・来訪等による情報収集等 延211件

- ・来所… 93件 (日系の企業等 58件、中国企業等 35件)
- ・訪問… 118件 (日系の企業等 67件、中国企業等 51件)

イ 各種ミッション等に対する協力・支援

- ・平成29年度富山県中国東北地方貿易投資ミッション団への支援
- ・大連・上海ポートセールス訪問団への支援
- ・遼寧省日中商談会への支援
- ・地方銀行合同商談会参加の支店長団への支援

ウ 各種商談会、セミナー等の調査・視察

- ・大連地銀合同商談会、日中地域間交流推進セミナー、遼寧省輸出食品農産品展示商談会、上海一遼寧沿海経済ベルト投資推進説明会、大連市計画展示センター、神谷中医院 ほか

エ 観光客の誘致

- ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等
- ・大連便インバウンド促進事業に対する支援
- ・中部各県の在中国自治体事務所合同による北京国際旅游博覧会への参加、観光PR活動
- ・「大連日本商品展覧会」、「B-1グランプリ2017in中国瀋陽」、「日本商品大連地区巡回展」、「天皇誕生日祝賀レセプション(北京、瀋陽、大連)」等での観光PR活動

オ その他

- ・大連富山企業会の開催
(6月23日、9月5日、12月8日、3月23日)
セミナー、企業視察、意見交換会等の開催
- ・県内企業の中国への新規輸出調査に係る支援
- ・富山ー大連便の利用促進についての連絡調整、増便交渉等に係る支援
- ・県内外国人技能実習生受入れ団体の企業視察への支援
- ・浙江省で開催された富山県に係る産業投資説明会への支援



(2) 各種交流事業への支援

ア 学術研究交流団等の来訪時の研修・説明等への協力

- ・県内高等教育機関在籍学生の企業実務研修事業への支援
- ・遼寧省との揮発性有機化合物合同調査事業への支援
- ・大連日本人学校小学生6年生の総合学習に対する支援
- ・富山高等専門学校等の環境保全研究調査への支援

イ 要人等の来訪時の対応

- ・現地進出企業代表取締役等の来連対応

ウ 友好交流事業への協力

- ・日中友好富山県地方議員連盟訪中事業に対する支援
- ・本溪市政府訪問団の富山県訪問に対する支援
- ・中国国際貿易促進委員会大連分会訪問団の富山県訪問に対する支援
- ・大連市人民対外友好協会訪問団の富山県訪問に対する支援
- ・遼寧省中日友好協会大連分会訪問団の富山県訪問に対する支援

(3) 富山ファン倶楽部の活動

ア 総会の開催 (10月31日 瀋陽)

イ 大連富山企業会と富山ファン倶楽部会員との交流会の開催 (12月8日 大連)

ウ 会員への富山県情報の提供

エ 会員名簿の更新、新規会員の加入促進 (会員数386名 (3月末時点))

Ⅱ 日本海学推進事業

(計画額 7,636千円 実績額 6,689千円)

1 日本海学講座

日本海を渡ってきた鑄造技術－青銅器から高岡銅器まで－	富山大学芸術文化学部 教授 三船 温尚	7月8日(土)	参加者 58名
環日本海－その海域特性と海洋資源を考える－	(一社)海洋産業研究会 常務理事 中原 裕幸	9月2日(土)	59名
日本海地域の栽培漁業－キジハタやアカムツなどを事例として－	富山県水産研究所 研究員 町 敬介	11月25日(土)	27名
日本海地域における日本人の歴史－小塚貝塚出土人骨を中心として－	国立科学博物館 研究主幹 坂上 和弘	1月13日(土)	97名

参加者計 241名

2 日本海学シンポジウム

時 期：2月17日(土)

会 場：北日本新聞ホール

参加者数：140名

テ ー マ：

「いま日本海で起こっていること」

基調講演：蒲生 俊敬

(東京大学大気海洋研究所名誉教授)



3 大学講座等推進事業

	内 容	受講者数
富山大学	総合科目特殊講義「日本海学」に初鹿宏壮氏(富山県環境科学センター主任研究員)を派遣	約 60名
富山国際大学	「環境デザイン特別講義」に吉田尚郁氏((公財)環日本海環境協力センター主任研究員)ほか2名を派遣	約 40名
富山県立大学	「環境論Ⅰ」に山崎裕治氏(富山大学大学院理工学研究部理学領域准教授)を派遣	約 250名
	「富山と日本海」に大田希生氏(水中カメラマン)ほか1名を派遣	約 60名

4 日本海学研究グループ支援事業

助成実績 応募13件、助成7件、助成総額1,600,000円

平成28年度助成分成果発表会(7グループ・個人)

時 期：6月10日(土)

会 場：県民会館704号室

参加者：58名

5 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

シンポジウム「ロシアのアジア回帰：環日本海交流はどう変わるか？」

期 日：11月16日(木)

場 所：富山県民会館704号室

参加者：一般県民、研究機関研究者約40名

6 富山湾の魅力体験親子教室

開催日：7月29日(土)、7月30日(日)

場 所：富山高等専門学校臨海実習場、富山湾

参加者：29日 35名(子ども21名、保護者14名)

30日 36名(子ども20名、保護者16名)

計71名(子ども41名、保護者30名)

Ⅲ 旅券関係事業

(計画額 42,764千円 実績額 39,445千円)

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務、旅券発給等に係る定期報告、統計資料の作成業務など旅券に関する業務を富山県旅券センター及び高岡支所で行った。

(旅券発行状況)

区 分	平成 29 年度件数	平成 28 年度件数	対比(%)
新規発給	24,353	24,516	99.3%
記載事項変更旅券	510	491	103.9%
渡航先追加	0	0	—
査証欄増補	87	74	117.6%